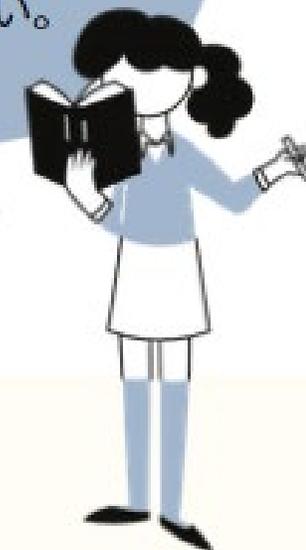


2021年度秋学期 日本語スキルアップ科目一覧

科目名	曜限
Contemporary Japan (Understanding Japan)	月3
Contemporary Japan (Researching Japan)	火4
Contemporary Japan (Japan in Mass Media II)	火3
Communication in Japanese Society (Business Japanese)	木3
Communication in Japanese Society (JPN Corporate Culture)	月4
Communication in Japanese Society (Learning Kansai I)	金3
Communication in Japanese Society (Learning Kansai II)	水5

各科目の詳細は
次のページを参考にし
てください。



※新型コロナウイルスの急激な感染拡大の現状を踏まえ、9月21日（火）～10月11日（月）の授業は、全て遠隔授業で実施します。10月12日（火）以降は、原則次ページ以降に記載された授業形態ですが、変更になる可能性があります。最新情報はインフォメーションシステムのお知らせをご確認ください。

問合せ：関西大学 国際教育支援チーム（メール：kugf@ml.kandai.jp）

Contemporary Japan (Understanding Japan)

【科目概要】

この授業では、日本の社会的、文化的な問題を発表テーマとして設定し、それらの調査、発表を通してプレゼンテーションのスキルを学びます。具体的には、授業の中で課題設定・調査の方法、プレゼンテーションの方法・表現など、大学で求められる発表スキルを学び、習得を目指します（詳しくはシラバスをご覧ください）。

科目基本情報

担任者名	田中 舞
授業期間/単位	2単位
曜限	月曜3限
言語	日本語
注意点	特になし
授業形態	対面授業 (海外から受講生がいる場合、 ハイブリッド授業を行います)

日本語に自信がない人、集合！ 一緒に「話す」練習をしましょう！



【担当教員からのメッセージ】

皆さんは発表は得意ですか？大学、そしてその後の会社では、自分の意見を相手に伝えることができなければ社会生活は送れません。この授業では、**自分の意見を言う、発表するスキルを身につけるための練習**をしていきます。今の自分の日本語運用能力に自信のある人もない人も、この授業を履修して練習してもらえればなと思います。**日本語能力は問いません！**まずはここで基礎をしっかりと身につけて、楽しい学術生活を送りましょう！





Contemporary Japan (Researching Japan)

【科目概要】

この授業では、日本の大学におけるレポート作成や論文執筆に対応できる文章表現の技術を学びます。具体的には、留学生が間違えやすい表現や日本語の文体の特性、レポート作成や論文執筆に必要な文章表現の技術、レポート・論文の構成を学び、1000-1500字程度のレポートを作成します（詳しくはシラバスをご覧ください）。

科目基本情報

担任者名	田中 舞
授業期間/単位	2単位
曜限	火曜4限
言語	日本語
注意点	特になし
授業形態	対面授業 (海外から受講生がいる場合、 ハイブリッド授業を行います)

大学のレポート・論文、大丈夫？ 皆さんの不安を解消します！



【担当教員からのメッセージ】

大学・大学院に入学して、レポート・論文をどのように書けばいいのか不安に思っている人や、レポートをがんばっているのに評価が思ったよりも低いと思っている人も多いと思います。この授業では、レポート・論文の基本的な書き方、表現を学ぶので、日本語を書く自信がない人、レポートの評価を上げたいと思っている人、誰でも、ぜひこのクラスを履修して、アカデミック・ライティングのスキルを身につけてください。





Contemporary Japan(Japan in Mass-media II)

【科目概要】

この授業では、新聞・雑誌・テレビ・マンガなどのマスメディアを通して、日本の文化の様々な側面（例えば、生活様式、若者文化、食文化、価値観など）を学習します。毎回、一つのテーマを決め、画像か映像を見せたあと、グループワークでその内容について議論を行います（詳しくはシラバスをご覧ください）。

科目基本情報

担任者名	麻 子軒 MA Tzu-Hsuan
授業期間/単位	2単位
曜限	火曜3限
言語	日本語
注意点	特になし
授業形態	対面授業 (海外から受講生がいる場合、 ハイブリッド授業を行います)

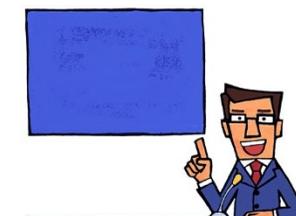
【担当教員からのメッセージ】



大学では、答えがまだ分からない問題を発見し、それを解決することが求められます。そのため、日常生活の様々な出来事を観察することによって、問題を発見し、批判的・論理的に考えたあと、自分の意見を発信する能力が必要です。この授業では、日本の文化だけではなく、大学で学ぶために必要な以下の能力も身につけることができます。

【アピールポイント】

- ・ 観察力・問題発見力を鍛えることができる
- ・ 批判的思考・論理的思考を身につけることができる
- ・ 異文化理解力を高めることができる
- ・ 情報リテラシーを身につけることができる





Communication in Japanese Society (Business Japanese)

科目基本情報

担任者名	古川智樹
授業期間/単位	2単位
曜限	木曜3限
言語	日本語
注意点	特になし
授業形態	同期型オンライン授業* このクラスはZoom等を用いた授業で、教室では行いません。

【科目概要】

日本語をある程度学習し、日本人（学生や先生）とコミュニケーションができるようになったら、次のステージとして、社会に出て使える日本語を学ぶという挑戦が待っています。本授業は、日本で働く、または日系企業に就職し日本人の上司や同僚と仕事をする、もしくは母国の企業で働く中で、日本での留学経験を買われて日本企業の対応をすることになるなど、**さまざまな「ビジネスシーン」でも使えるコミュニケーションスキルを身につける入門レベルのクラス**です。

【注意！】

本授業は、zoomなどのウェブ会議ツールを用いた**同期型遠隔授業形式（オンライン授業）**ですべての講義を行います。（*キャンパス内で受講したい人用の教室も用意してあります）
また、海外から参加する国際学生もいるのであらかじめご了承ください。（KU-Exchange Online Learning Program）。



【このクラスでできるようになること】

- ★ビジネス日本語と、今までに学習してきたアカデミック日本語の異なりと共通点を理解し、必要に応じて応用し、また場面によって使い分けができるようになる。
- ★社会人に求められる日本語でのコミュニケーションについて、さまざまな側面から体験し学ぶ。
- ★チームで協働し、プロジェクトを進めるスキルを身につける。
- ★異文化背景を持つチームメンバーとの交流と共同活動を通して、異文化理解能力を培う。

Message to students:

日本社会もどんどん変わろうとしています。一緒に考えながら、ビジネス日本語を通して社会人へのステップを学びましょう。

Communication in Japanese Society (JPN Corporate Culture)

科目基本情報

担任者名	池田佳子
授業期間/単位	2単位
曜限	月曜4限
言語	日本語
注意点	
授業形態	同期型オンライン授業* このクラスはZoom等を用いた授業で、教室では行いません。

Message to students:
日本企業が変わる？コロナ禍で国際化・DX化する日本の社会で活躍できるよう、一緒に学びましょう。



【科目概要】

本授業は、zoomなどのウェブ会議ツールを用いた同期型遠隔授業形式ですべての講義を行う。また、海外から参加する国際学生がいることをあらかじめ伝えておく（KU-Exchange Online Learning Program）。

日本語を学習してしばらくすると、大学で必要とされる日本語と、社会に出てから必要とされる日本語のコミュニケーションはちがうことがわかってくる。大学を卒業してから求められる日本語能力は、後者のことが多いかもしれない。本授業は、留学生（本学私費・交換留学生）で、日本や日系企業で働く、もしくは社会人として企業人と日本語でビジネスを行うことができるようになりたいと将来的に希望する履修学生を対象とする。**現代日本の様々なビジネス業界について日本語でその仕組みについて学びながら、必要な語彙（ボキャブラリー、専門用語）や表現についても勉強していく。**本授業では、企業の方々にゲストとして講演をしてもらったり、実際のビジネスシーンを見学するといった授業内外での活動も行う。履修する学生は、最終課題として、自分が関心を持った業界について調べ、クラスで（日本語で）発表・共有するという作業を行う。

【このクラスでできるようになること】

- 1 現代日本の様々な職種・業界について理解する。
- 2 社会人として使えるビジネス日本語の基本を身に着ける。
- 3 自ら主体的に活動し、調べ学習をして、結果をまとめるスキルを身に着ける。
- 4 社会人になっても必要な多様な社会的役割の人物とのコミュニケーションスキルとプレゼンテーションのコツを学ぶ。

Communication in Japanese Society (Learning Kansai I) 関西を学ぶ I

【科目概要】 ※春学期と秋学期とでは、扱う内容が若干異なることがあります

関西大学を起点に吹田市を中心とする大阪の「街づくり」、「暮らし」、「文化」等を観察することで、コミュニティの中、あるいは芸能の中に映し出される、現代の関西の社会の特徴について考えます。

科目基本情報

担任者名	山本敏幸
授業期間/単位	秋学期 2単位
曜限	金曜3限
言語	日本語（一部 英語）
注意点	
授業形態	対面型授業

【担当教員からのメッセージ】

この授業では主に5つのトピックに関して、校外学習も交えながら、大阪の人々の街・暮らし・文化について学びます。

1. 千里山と関西大学の歴史
2. 千里ニュータウン：日本の街づくりとコミュニティの変化
3. 千里丘陵：万国博覧会 Expo '70 から日本の社会を考える
4. 大阪の文化（1）： 「笑い」の伝統（落語を通して）
5. 大阪の文化（2）： 「文楽」（人形芝居）から見える大阪人の個性



校外学習



Expo '70



文楽

Communication in Japanese Society (Learning Kansai II) 関西を学ぶ II

【科目概要】 ※春学期と秋学期とでは、扱う内容が若干異なることがあります

大阪の起業家・企業人の取り組みを、主としてビデオを見ながら振り返ることで、また校外学習を通じて、ビジネス（商人）の町として知られる大阪に生きる人々のユニークな考え方や関西の企業の特徴を学びます。 **ビジネスの現場での日本語にも目を向けます。**

科目基本情報

担任者名	金居明生
授業期間/単位	2単位
曜限	水曜5限
言語	日本語（一部 英語）
注意点	
授業形態	対面型授業

【担当教員からのメッセージ】

この授業では、大阪を本拠地とする5つの企業（創設者・社員）のユニークな商品とその誕生の秘話を学ぶことで、関西を拠点に活動するビジネスマンの特徴を考えます。

1. パナソニック（松下幸之助と松下電器）
2. 日清食品（安藤百福とチキンラーメン・カップヌードル）
3. 阪急電車（小林一三と鉄道・娯楽の世界）
4. シャープ（早川電気：液晶画面の開発）
5. オムロン（立石電気：自動改札機の挑戦）



小林一三と宝塚歌劇



自動改札機



校外学習
(カップヌードル・ミュージアム)